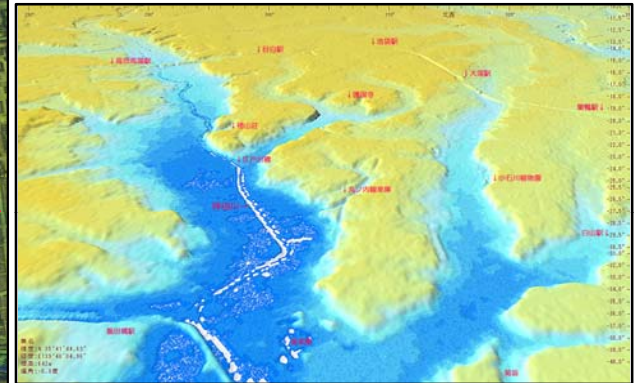


見学ルート周辺の空中写真(電子国土より作成)

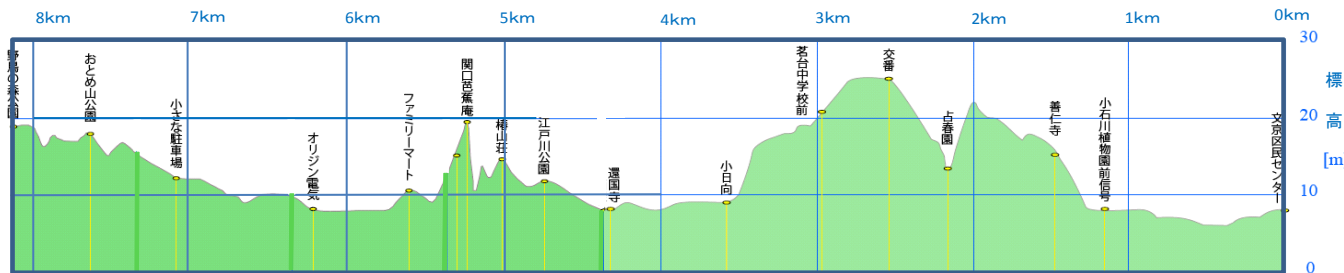


見学ルート周辺の3D図(カシミール3Dにて作成)

見学箇所凡例(デジタル標高地形図では主に緑色部分は低地 黄色部分は台地に相当)

②~⑩見学箇所--白色 坂道--薄茶色 主要駅--桃色 ①文京区民センター--赤色 河川--青色 見学ルート--黄色-->

見学ルート断面図



見学ポイント

見学ルートは、標高7m~25mぐらいの範囲で、低地と台地の間を巡ります。台地へ上ったり台地から下るところには坂があります。坂には色々な名前が付いていて、坂の案内看板にその坂の由来などが記されています。また、台地の縁(へり)となる段丘崖の下では地下水の湧出しているところがあります。現在は、湧水量が少なくなっていますが、何箇所かで確認することができます。

- ①出発地点の文京区民センターは神田川の低地に位置し、②小石川植物園は台地と低地の両方に跨っています。植物園の中の段丘崖の下からはわずかに湧水が見られます。
- ③善仁寺は台地の中腹にあり、寺の中の井戸では地下水水面を確認することができますが、④極楽水は、現在湧水はなく、その名残を見ることとなります。
- ⑤占春園は段丘崖の斜面にあり、池がありますが湧水地点を確認することは出来ません。⑥廻国寺(げんこくじ)では、寺の背後の段丘崖から裏庭にしみ出した湧水を見ることが出来ます。⑦麓坂下の湧水は、擁壁の下にわずかにしみ出す程度の湧水で、並びにある⑧今宮神社駐車場湧水も段丘崖の下よりしみ出している湧水で、麓坂下の湧水より多少湧水量が多い程度です。
- ⑨江戸川公園では、斜面側には湧水を見ることはできませんが、神田川沿いの擁壁からわずかにしみ出している湧水を見ることが出来ます。⑩椿山荘には、有名な古井があり、谷底にある井戸より自噴する湧水を見ることが出来ます。
- ⑪関口芭蕉庵には、台地の斜面よりしみ出している湧水が樋から流下しています。しかし、最近では、流量が少なく滴り落ちる程度となっています。⑫新江戸川公園では、湧水によってできた池を見ることが出来ます。
- オプションとなる⑬おとめ山公園は段丘崖にあり、樹林のある斜面上部からの湧水が見られます。⑭野鳥の森公園も同じく段丘崖に位置していますが、湧水量が減り現在はポンプアップで循環しているようです。